

## 介護に関する実態調査結果概要 および 当社の今後の取り組み計画について

### ① 実態調査結果概要

アンケート調査を実施したところ、大半のスタッフが、会社や地域の介護に関する制度や実態に対する知識が無い中で、具体的な問題点は分からないけれど、漠然とした不安があるという状況が推測されました。介護問題に無関係ではないものの、差し迫った状況ということでも無い為に、実際に自分自身が介護を行うことを現実的に考えたことも無い中で、漠然とした不安を抱えているという状況が見受けられました。

また、介護経験のあるスタッフの意見から、仕事と介護を両立させる上で重要な点は、一時的な休暇等の対処ではなく、長期にわたり介護と仕事と両立させることのできる、根本的な仕組みの導入こそが、スタッフが安心して働くことのできる環境を実現させるのではないかとということが想定されました。

### ② 今後の取り組み計画

上記の実態調査、およびスタッフからの意見に基づき、以下の取り組みを実施します。

<p>1. 相談内容や従業員ニーズ調査の結果等により判明した課題</p>	<p>【課題 1】 大半の社員が、将来の介護の可能性が少しあるとはいえ、差し迫った状況でない為に、具体的に考えたことが無く、知識も薄い中で、漠然とした不安だけが募っている状態である。</p> <p>【課題 2】 介護に直面した場合、一時的な対処では無く、長期間にわたり介護と仕事を両立することのできる、長期的施策が求められている。</p>
<p>2. 働き方の見直しに関する検討状況</p>	<p>① 検討方法 介護相談員と代表取締役が中心となり、収集した社員の意見を基に検討を行う。</p> <p>② 検討経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10 月中旬 介護に関するアンケート調査の結果について、介護相談員および代表取締役が内容の確認を行う</li> <li>・ 10 月下旬 介護相談員がアンケート調査結果に基づいた対策案を複数作成し、個々の案について代表取締役と実現性を精査</li> <li>・ 11 月初旬 対策案の候補について、社員から意見を収集</li> <li>・ 11 月中旬 社員からの意見を参考に、対策案を確定</li> <li>・ 12 月初旬 介護相談員および代表取締役が、確定した対策案について、今後の大まかなスケジュールリングを確認</li> </ul>
<p>3. 仕事と介護の両立に関する取組計画</p>	<p>【計画 1】 介護相談窓口の積極活用推進（平成 28 年 1 月より） → 全社員を対象に介護相談員との個別相談時間を設け、介護未経験者には知識的なフォロー、介護中の社員にはメンタルケアを含むフォローを行う</p> <p>【計画 2】 短時間正社員制度の導入（平成 28 年度中） → 所定労働時間を短くした勤務形態の制度を導入することで、長期の介護問題と仕事の両立にも対応できる制度を構築する</p>